

Rise Consulting Group

2024年2月期 第3四半期
決算補足資料

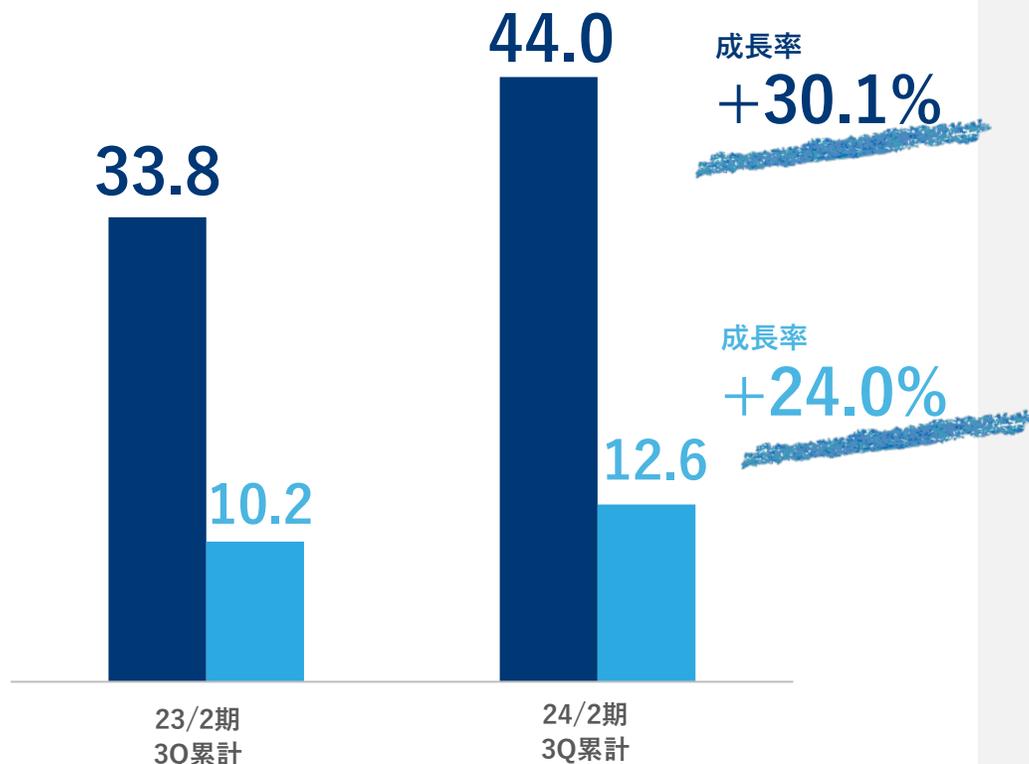
東証グロース（証券コード：9168）

2024年1月12日

**24年2月期 第3四半期 決算概要および
通期見通し**

■ 売上収益 ■ 営業利益

(単位：億円)



売上総利益率 57.5%
営業利益率 28.7%

✓ 売上収益は前年同期比 + 30.1% の成長
通期業績予想に対して 72.0% の進捗 (昨年は 71.0%)

(参考) 3Qまでの稼働の内、収益認識による4Q以降への計上時期ズレ分は当期約1.4億円¹(前期は約0.5億円)

⇒ 主要KPIの進捗も順調であり、ほぼ計画通りの進捗

✓ 営業利益は、前年同期比 + 24.0% 増

(参考) 一時費用として上場関連コスト0.2億円計上

⇒ 2Qより良化し、順調に通期計画を達成する見込み

✓ 第3四半期累計のKPIは下記

コンサルタント人員数	217人
稼働率 ^{*2}	累計期間：86% (3Q会計期間：92%)
コンサルタント平均単価 (月額) ^{*3}	累計期間：268万円

1. 今期・来期に計上される予定のものであり、未監査の数字になります。

2. 稼働率 = (コンサルティング事業に係る売上高 - 外注売上高) ÷ 100% 稼働ベース仮定売上高
100% 稼働ベース仮定売上高は、当該期間の休職者を除く所属コンサルタントの全員 (「稼働可能コンサルタント」という。) が 100% 稼働したと仮定した場合の当該期間の仮定売上高。算定の際は、役職かつ月別に当社内部規程で定められた各コンサルタントの受注時の平均基準単価に人数を掛け合わせ算定

3. コンサルタント平均単価 (月額) とは、コンサルタントあたりの月額単価の平均を示し、次のように算出される。コンサルタント平均単価 (月額) = 100% 稼働ベース仮定売上高 ÷ 稼働可能コンサルタント。通期の平均単価は、各月の平均単価を算出し、それに対して年間平均を算出

■売上収益は、前年同期比+30.1%の成長。ほぼ計画通りの進捗

■営業利益は、上場関連コスト0.2億円の計上があるものの、前年同期比+24.0%増。2Qよりも良化(+17.6%⇒+24.0%)し、通期業績見通しに対して順調な進捗

⇒順調に通期計画を達成する見込み

	23/2期 2Q累計	24/2期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	2,205	2,871	666	+30.2%
売上原価	980	1,224	244	+24.9%
原価率	44.4%	42.6%		
売上総利益	1,225	1,647	422	+34.4%
売上総利益率	55.6%	57.4%		
販管費	537	841	304	+56.6%
営業利益	688	809	121	+17.6%
営業利益率	31.2%	28.2%		
EBITDA	721	844	123	+17.0%
EBITDA率	32.7%	29.4%		
四半期(当期)純利益	437	547	110	+25.2%
当期利益率	19.8%	19.0%		

(単位：百万円)

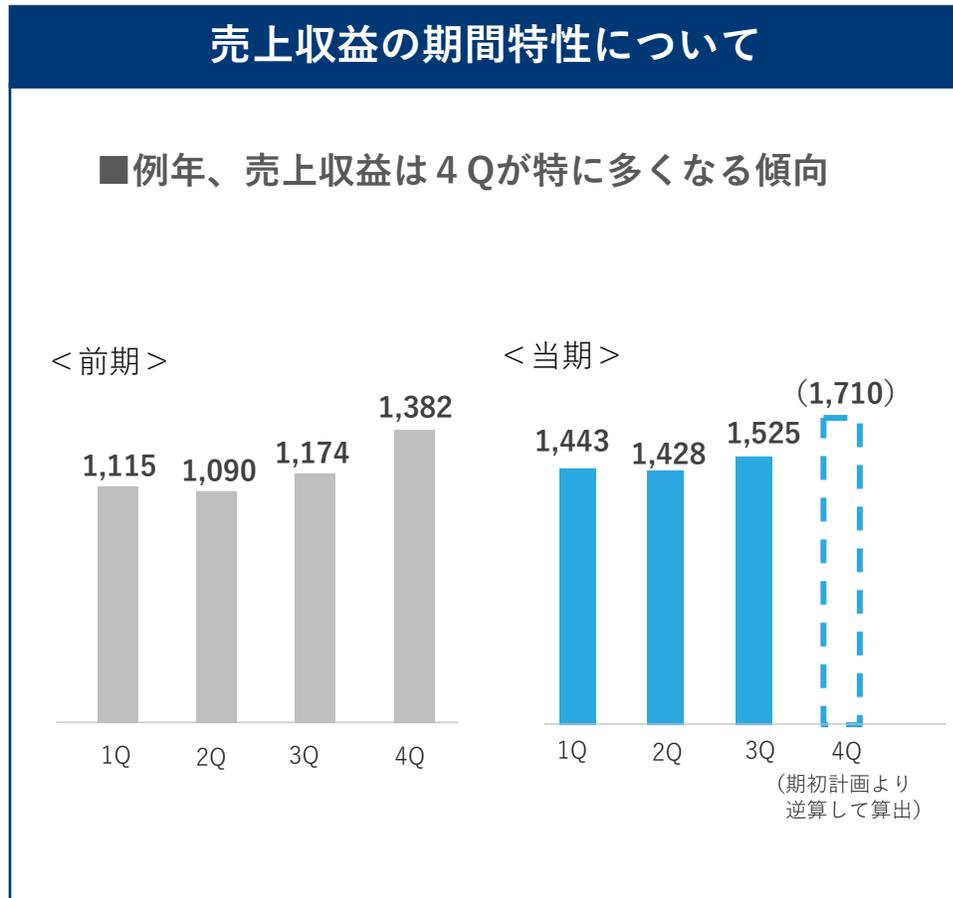
23/2期 3Q累計	24/2期 3Q累計	前年同期比		24/2期 通期業績予想	進捗率	
		増減額	増減率			
3,379	4,396	1,017	+30.1%	6,106	72.0%	
1,515	1,867	352	+23.3%	2,724	68.5%	
原価率	44.8%	42.5%		44.6%		
1,864	2,529	665	+35.7%	3,382	74.8%	
売上総利益率	55.2%	57.5%		55.4%		
848	1,247	400	+47.1%	1,799	69.3%	
営業利益	1,019	1,263	245	+24.0%	1,583	79.8%
営業利益率	30.1%	28.7%		25.9%		
1,070	1,316	247	+23.0%	1,640	80.2%	
EBITDA	1,070	1,316	247	+23.0%	1,640	80.2%
EBITDA率	31.7%	29.9%		26.9%		
657	855	198	+30.1%	1,071	79.9%	
四半期(当期)純利益	657	855	198	+30.1%	1,071	79.9%
当期利益率	19.5%	19.5%		17.5%		

次ページ
にてご説明

売上の傾向について

- 第3四半期までの売上収益は、例年通りの傾向で推移
通期業績予想に対して進捗率72.0%（昨年は通期実績に対して71.0%）であるが、例年売上収益は4Qが特に多くなる傾向

(単位：百万円)



下期偏重になる理由

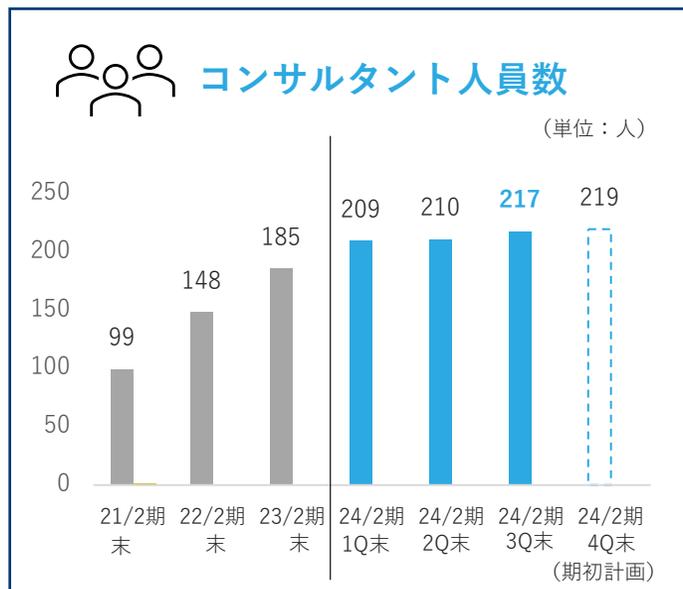
<上期>

- 1Q(3~5月)は3月決算の企業による需要と3月末納品の請負契約が増え、売上が多くなる傾向
- 2Q(6~8月)は特殊要因がないため、例年1Qよりも売上が少ない傾向

<下期>

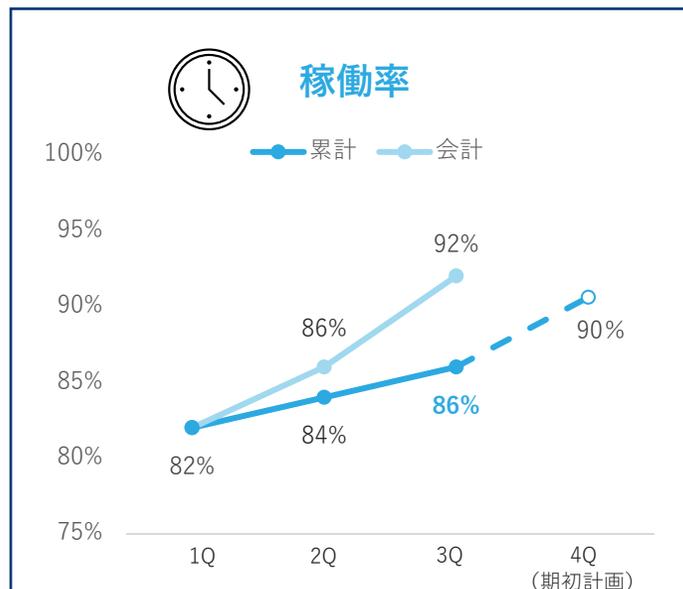
- 顧客企業の需要が増えるタイミングである年度末にかけて稼働率が上昇し、受注が増加していく

重視するKPIの状況



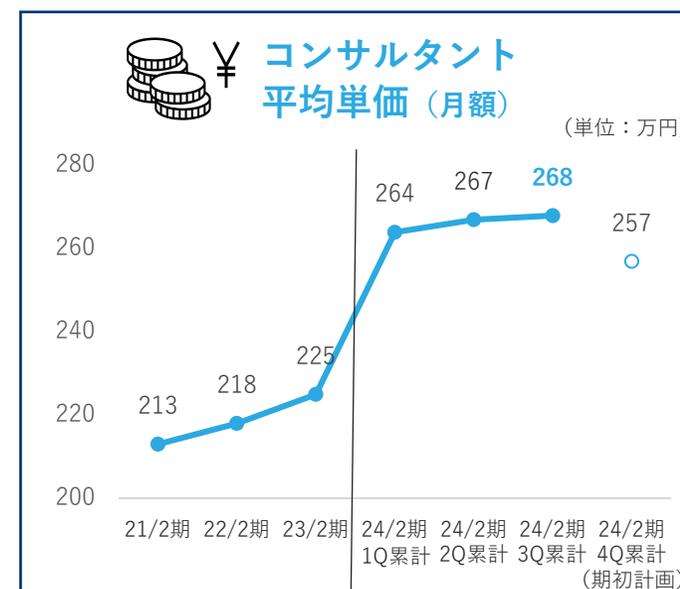
217人

- 入社は4月・10月が多い傾向
- 3Q末時点で計画を上回って推移しており、通期計画は上回る見込み
- 上場による認知向上等により、採用応募が増加



会計期間：92% 累計期間：86%

- 4月入社 of 社員（新卒・中途）をマネージャー以上の職位者が1ヶ月間研修、翌月(5月)は無償アサインのため1Qの稼働率は低くなる傾向
- 顧客企業の需要が増えるタイミングである年度末にかけて稼働率が上昇予定
- 上記を踏まえ、3Qも引き続き稼働率改善

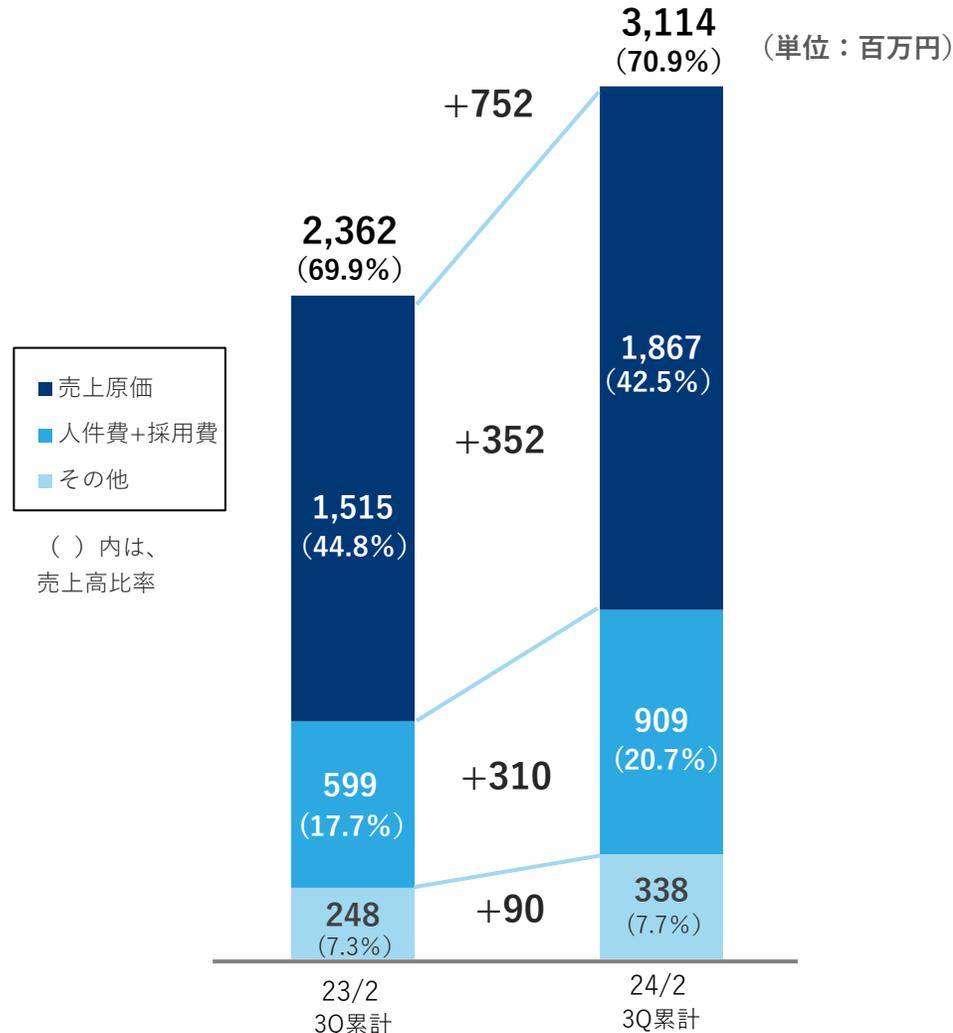


累計期間：268万円

- 4月に全役職の基準単価アップを実施
- 2Q(6月)より、単価の低い新卒等がアサインされ、2Q以降は押し下げ要因となるが、それを上回る単価上昇
- 3Qも順調に単価が上昇し、通期計画は上回る見込み

営業費用（売上原価＋販管費）

■ 人員増による人件費の増加や今後の成長の原資となる人員獲得のための採用コスト増があるものの、徹底したコスト管理により、高利益率を維持



主な増減要因

■ 売上原価 対前年同期+352百万円

コンサルタント人員数の増加および外注の活用により増加

■ 販管費 対前年同期+400百万円

● 人件費+採用費 +310百万円

- ・ コンサルタントの採用強化
- ・ コンサルタントがプラクティス*1などのプロジェクト外の活動をした場合、人件費が販管費に計上されるが、それが増加したため
- ・ 強固な経営基盤構築に伴うバックオフィス機能の拡充

● その他経費 +90百万円

- ・ 認知拡大のための広告宣伝、営業活動費用増等

通期見込み

事業成長のための採用強化を行うが、適切なコスト管理を行い、年間の利益は確保予定

1. プラクティス制とはOne Poolの組織を維持しながらも、DXやHuman Development、Green Transformation、Social Designなど、クライアントからのニーズが高いテーマの研究開発を行うコミュニティ（プラクティス）に所属できる制度

財政状態計算書 (BS)

■着実な利益の積み上げにより、利益剰余金は14.8億円→23.4億円

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期 (2023年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,152,093	1,496,316
営業債権及びその他の債権	613,916	739,494
棚卸資産	17,013	44,831
その他の流動資産	40,016	37,231
流動資産合計	1,823,038	2,317,872
非流動資産		
有形固定資産	54,158	40,554
使用権資産	429,795	391,316
のれん	5,120,539	5,120,539
その他の金融資産	62,817	62,817
繰延税金資産	41,996	50,860
その他の非流動資産	976	2,053
非流動資産合計	5,710,281	5,668,139
資産合計	7,533,319	7,986,011

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期 (2023年11月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	202,898	96,800
借入金	525,657	525,657
リース負債	48,233	48,443
未払法人所得税	259,380	239,657
その他の流動負債	274,521	321,680
流動負債合計	1,310,689	1,232,237
非流動負債		
借入金	2,101,100	1,706,857
リース負債	364,807	328,448
引当金	23,000	23,000
非流動負債合計	2,488,907	2,058,305
負債合計	3,799,596	3,290,542
資本		
資本金	110,000	162,696
資本剰余金	2,139,777	2,193,499
利益剰余金	1,483,946	2,339,274
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,733,723	4,695,469
資本合計	3,733,723	4,695,469
負債及び資本合計	7,533,319	7,986,011

2024年2月期 業績予想（通期）

■前回公表時から変更なし

(単位：百万円)

	22/2期 (実績)	23/2期 (実績)	対前期 増減率	24/2期 (予想)	対前期 増減率
売上収益	3,432	4,761	38.7%	6,106	28.3%
売上原価	1,478	2,129	44.0%	2,724	28.0%
原価率	43.1%	44.7%		44.6%	
売上総利益	1,953	2,632	34.7%	3,382	28.5%
売上総利益率	56.9%	55.3%		55.4%	
販売費及び一般管理費	1,005	1,258	25.2%	1,799	43.0%
営業利益	950	1,377	45.0%	1,583	15.0%
営業利益率	27.7%	28.9%		25.9%	
EBITDA	1,152	1,450	25.8%	1,640	13.1%
EBITDAマージン	33.5%	30.4%		26.9%	
当期利益	683	966	41.5%	1,071	10.9%
当期利益率	19.9%	20.3%		17.5%	

本資料には将来予想や見通しに関する記述が含まれます。これらは、当社が現時点で入手可能な情報を基に行った予想または想定に基づく記述であり、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

また、本資料には、当社以外の情報も含まれていますが、当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、当該情報についてこれを保証するものではありません。なお、本資料の一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

